

令和2年度補正  
重点分野・テーマ別の販売促進活動（シンガポール）実施報告

■事業実施主体

日本青果物輸出促進協議会

■実施店舗（11店舗）

- ・ DONDON DONKI オーチャードセントラル店
- ・ DONDON DONKI 100AM 店
- ・ DONDON DONKI シティスクエアモール店
- ・ DONDON DONKI スクエア2店
- ・ DONDON DONKI クラークキーセントラル店
- ・ DONDON DONKI JEM 店
- ・ DONDON DONKI J-CUBE 店
- ・ DONDON DONKI ハーバーフロントセンター店
- ・ DONDON DONKI ダウンタウンイースト店
- ・ DONDON DONKI サンテックシティ店
- ・ DONDON DONKI Tampines1 店

日本の製品に関心が高く、中間所得層（アッパーミドル）が主に訪れるの日系小売店で実施。

■実施概要

・ 日本産青果物の通年販売、および輸出拡大を目的に、POP を活用してフルーツを中心とする青果物の PR を行った。当初はプロモーターによる店頭試食提供を予定していたが、コロナウイルス感染症の防疫措置により、プロモーターの配置が出来なかった。

■期間

2021年5月～2022年2月

内容：プロモーターによる試食提供、商品 PR、売り場装飾

■プロモーション品目

メロン、桃、梨、ぶどう、りんご、柿、みかん、洋ナシ、あんぽ柿、いちご

■プロモーションの様様



DONDON DONKI オーチャードセントラル 店



DONDON DONKI スクエア 2店



DONDON DONKI JEM 店

## ■POP 類



## ■総評

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響に加えて、海上コンテナの遅延が頻発し、商品の安定供給が難しかったこともあり、輸出量はいちご、桃、ぶどう、柿、りんご、梨、みかん、メロン合わせて約 165 トンにとどまった（前年約 180 トン）。また今年度は春先の雹の影響で梨の価格が高く、その影響で約 1.5 トンしか輸出できなかった。新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、店頭で客足が戻ることが予想されるが、日本と同様行動自粛により EC の需要が高まっているため、次年度はネットでの販売促進も検討したい。